

## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月6日

上場会社名 株式会社ニッポン 上場取引所 東  
 コード番号 2001 URL <https://www.nippon.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前鶴 俊哉  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 福山 幸一郎 TEL 03-3511-5307  
 四半期報告書提出予定日 2024年2月7日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	304,974	11.0	18,000	88.2	20,704	74.5	14,307	77.0
2023年3月期第3四半期	274,681	13.6	9,564	10.1	11,865	4.3	8,084	5.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 25,734百万円 (86.7%) 2023年3月期第3四半期 13,779百万円 (61.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	183.52	160.29
2023年3月期第3四半期	104.27	91.03

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	371,940	214,424	56.5
2023年3月期	344,606	192,613	54.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 210,285百万円 2023年3月期 188,687百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	19.00	—	21.00	40.00
2024年3月期	—	28.00	—		
2024年3月期（予想）				28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	9.4	19,000	54.6	21,500	45.1	24,500	138.8	314.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	78,824,009株	2023年3月期	78,824,009株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	847,884株	2023年3月期	860,850株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	77,961,316株	2023年3月期3Q	77,536,670株

(注) 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2024年3月期3Q 240,000株）が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2024年3月期3Q 133,333株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	274,681	304,974	30,292	111.0%
営業利益	9,564	18,000	8,436	188.2%
経常利益	11,865	20,704	8,838	174.5%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	8,084	14,307	6,222	177.0%

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、行動制限の緩和による個人消費及びインバウンド消費の回復が続きました。また、原材料・エネルギー価格の高騰により製造・輸送コストは依然として高止まりの状況にあるものの、ロシアによるウクライナ侵攻後に高騰した穀物相場は沈静化し、安定的に推移しております。不安定な国際情勢、円安が続く為替相場等、依然として先行きの不透明感が残っておりますが、経済活動の正常化に伴い、当社グループを取り巻く経営環境は緩やかに改善しております。

このような状況下、当社グループは経営理念「人々のウェルビーイング（幸せ・健康・笑顔）を追求し、持続可能な社会の実現に貢献します」のもと、国内外での積極的な投資を通じて事業基盤の強化並びに事業領域の拡大を図るとともに、企業としての社会的責任を果たすため、環境負荷低減や人的資本投資等のサステナビリティ課題への取り組みを強化し、企業価値の持続的な向上に努めました。

国内では、愛知県知多市の新たな製粉工場建設着工に際し、昨年10月に地鎮祭を執り行いました。当工場はDXの活用によるスマートファクトリー化を推進するとともに、自然災害に強く、省エネ・環境を含めSDGsに配慮した最先端の製粉工場として、2026年2月の稼働を予定しております。新たな工場建設に加え、神戸甲南工場、伊勢崎工場の設備増強工事をはじめとした投資を着実に進めました。

海外では、昨年5月に北米でのビジネス拡大のため米国の製粉会社Utah Flour Milling, LLCへ出資した他、9月に再生可能エネルギーの利用を推進するべく、NIPPON(Thailand)CO., Ltd.のプレミックス並びに冷凍生地工場に太陽光発電設備を導入いたしました。また、10月にはPT NIPPON PRODUCTS INDONESIAのプレミックス工場が竣工し、引き続きASEAN地域での業容拡大に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、個人消費及びインバウンド消費の回復等による需要の増加に加え、原材料及び各種コストの上昇に伴い実施した価格改定により、売上高は3,049億7千4百万円（前年同期比111.0%）となりました。利益面では、原材料及び各種コストの上昇や拡売のための戦略コストが増加したものの、冷凍食品類の販売数量伸長、中食事業の堅調な推移、生産性の改善によるコストダウン等により、営業利益は180億円（同188.2%）、経常利益は207億4百万円（同174.5%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は143億7百万円（同177.0%）となりました。

事業別の状況は次のとおりです。

## ①製粉事業

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	87,972	96,342	8,369	109.5%
営業利益	5,889	7,965	2,075	135.2%

製粉事業については、小麦粉の価格改定並びに副製品のふすまの販売価格の堅調な推移等により、売上高は前年同期を上回りました。

なお、外国産小麦の政府売渡価格が昨年4月から5銘柄平均（税込価格）で5.8%引き上げられ、昨年10月には同11.1%引き下げられたことに伴い、昨年6月及び本年1月に業務用小麦粉の価格を改定しております。

以上により、製粉事業の売上高は963億4千2百万円（前年同期比109.5%）、営業利益は79億6千5百万円（同135.2%）となりました。

## ②食品事業

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	154,949	172,601	17,652	111.4%
営業利益	2,857	8,059	5,201	282.0%

業務用食品については、飲食店を中心に個人消費及びインバウンド消費の回復等により需要が増加したことから、売上高は前年同期を上回りました。

家庭用食品については、原材料費、物流費並びにエネルギー価格等のコスト上昇に伴い、昨年より継続して価格改定を実施したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

冷凍食品類については、発売から20周年を迎えた冷凍パスタ「オーマイプレミアム」の新たなラインナップとして最上級の美味しさを目指した「至極」シリーズを発売し、高付加価値商品の拡売に努めました。また、1食完結型の「よくばり」シリーズ等の家庭用冷凍食品の販売も好調に推移し、加えて価格改定を実施したことから、売上高は前年同期を上回りました。

中食事業については、人流の回復に伴い需要が伸長するとともに、商品の販売価格を改定したことから、売上高は前年同期を上回りました。

以上により、食品事業の売上高は1,726億1百万円（前年同期比111.4%）、営業利益は80億5千9百万円（同282.0%）となりました。

## ③その他事業

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	31,759	36,030	4,270	113.4%
営業利益	782	1,976	1,193	252.6%

ペットフード事業については、出荷増に加えて原材料等のコスト上昇に伴う価格改定を実施したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

外食事業については、人流の回復に伴う需要の増加に加えて販売が好調に推移したことから、売上高は前年同期を上回りました。

以上により、その他事業の売上高は360億3千万円（前年同期比113.4%）、営業利益は19億7千6百万円（同252.6%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2023年3月期	2023年12月期	増減額
流動資産	143,021	151,342	8,320
固定資産	201,557	220,581	19,023
繰延資産	26	16	△9
資産 合計	344,606	371,940	27,334
流動負債	78,613	82,834	4,220
固定負債	73,378	74,682	1,303
負債 合計	151,992	157,516	5,523
純資産	192,613	214,424	21,810
負債・純資産 合計	344,606	371,940	27,334

当第3四半期連結会計期間末の総資産残高は、前連結会計年度末に比べ273億3千4百万円増加し、3,719億4千万円となりました。この主な要因は、投資有価証券が163億5千1百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が120億3千万円、有形固定資産が30億5千7百万円、商品及び製品が14億5千9百万円増加したこと、及び現金及び預金が32億5千1百万円、原材料及び貯蔵品が24億円減少したことによるものです。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ55億2千3百万円増加し、1,575億1千6百万円となりました。この主な要因は、その他の固定負債が38億3千2百万円、その他の流動負債が20億1千万円、支払手形及び買掛金が19億5千7百万円増加したこと、及び長期借入金が23億7千4百万円減少したことによるものです。

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ218億1千万円増加し、2,144億2千4百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が104億7千2百万円、その他有価証券評価差額金が98億8千8百万円、為替換算調整勘定が12億3千1百万円増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、長期ビジョンとして売上高5,000億円・営業利益250億円の達成を掲げており、その実現に向けて、基盤事業である製粉・食品素材・加工食品については、ブランド力の強化や差別化した商品の展開、生産能力の増強などにより成長を図り、成長事業である冷凍食品・中食・ヘルスケア・海外事業については、今後の重点領域と位置付けて供給拠点の整備・拡充や事業の取得・提携を推進することにより、売上・収益の向上を図ります。

また、コーポレートガバナンス・コードの趣旨を踏まえ、政策保有株式について資本コストを意識したうえで個別銘柄ごとに保有意義を検証しております。その結果、第4四半期会計期間において投資有価証券の一部を売却することを決議いたしました。当社グループでは、企業価値向上に向けた資本効率の改善及び財務体質の強化等を図るため、2026年度までに政策保有株式の保有額を連結純資産比20%未満とすることを目指してまいります。詳細は、本日公表いたしました「投資有価証券売却益（特別利益）の計上見込みに関するお知らせ」をご参照ください。

2024年3月期の業績見通しにつきましては、第3四半期連結累計期間の業績の推移、並びに投資有価証券売却益（特別利益）の計上が見込まれることにより、業績予想を上方修正しました。期末配当につきましては、1株当たり年間56円の予定を据え置いておりますが、上方修正が必要な場合には速やかに公表いたします。詳細は、本日公表いたしました「2024年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	400,000	17,500	20,000	14,500	186.00
今回修正予想（B）	400,000	19,000	21,500	24,500	314.26
増減額（B－A）	0	1,500	1,500	10,000	
増減率（%）	0.0	8.6	7.5	69.0	
（参考）前期実績 （2023年3月期）	365,525	12,288	14,816	10,260	132.16

なお、当社では株主の皆様当社商品のご利用を通じて、当社をより一層ご理解いただくことを目的として株主優待制度を実施しておりますが、株主様へ更なる感謝の意を表するとともに、引き続きご支援いただきたいという思いから、2024年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様を対象に、株主優待制度の内容の一部拡充することといたしました。詳細は、本日公表いたしました「株主優待制度の一部変更（拡充）に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	36,815	33,564
受取手形、売掛金及び契約資産	54,119	66,149
商品及び製品	20,918	22,378
仕掛品	222	136
原材料及び貯蔵品	26,400	23,999
その他	4,607	5,172
貸倒引当金	△61	△58
流動資産合計	143,021	151,342
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	46,745	47,299
機械装置及び運搬具（純額）	21,170	21,937
土地	41,027	41,198
建設仮勘定	1,741	3,063
その他（純額）	2,782	3,025
有形固定資産合計	113,467	116,524
無形固定資産		
のれん	1,179	1,045
その他	996	1,484
無形固定資産合計	2,175	2,530
投資その他の資産		
投資有価証券	77,254	93,606
その他	8,979	8,225
貸倒引当金	△320	△305
投資その他の資産合計	85,914	101,526
固定資産合計	201,557	220,581
繰延資産	26	16
資産合計	344,606	371,940



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,669	38,627
短期借入金	17,572	17,543
1年内償還予定の社債	221	306
未払法人税等	2,645	3,259
賞与引当金	764	347
その他	20,740	22,750
流動負債合計	78,613	82,834
固定負債		
社債	128	—
転換社債型新株予約権付社債	25,038	25,024
長期借入金	21,175	18,801
退職給付に係る負債	3,881	3,872
役員退職慰労引当金	406	361
役員株式給付引当金	—	40
その他	22,748	26,581
固定負債合計	73,378	74,682
負債合計	151,992	157,516
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,240	12,240
資本剰余金	9,693	9,762
利益剰余金	128,965	139,438
自己株式	△1,287	△1,317
株主資本合計	149,612	160,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,462	46,351
繰延ヘッジ損益	△23	△42
為替換算調整勘定	2,161	3,393
退職給付に係る調整累計額	473	460
その他の包括利益累計額合計	39,074	50,162
新株予約権	226	221
非支配株主持分	3,699	3,916
純資産合計	192,613	214,424
負債純資産合計	344,606	371,940

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	274,681	304,974
売上原価	214,250	232,782
売上総利益	60,430	72,192
販売費及び一般管理費	50,866	54,191
営業利益	9,564	18,000
営業外収益		
受取利息	51	59
受取配当金	1,891	2,051
持分法による投資利益	258	180
その他	864	677
営業外収益合計	3,066	2,968
営業外費用		
支払利息	152	137
株式交換関連費用	222	—
その他	390	128
営業外費用合計	765	265
経常利益	11,865	20,704
特別利益		
固定資産売却益	9	48
投資有価証券売却益	129	91
事業譲渡益	—	350
特別利益合計	139	490
特別損失		
固定資産除売却損	134	126
関係会社株式売却損	—	245
減損損失	—	25
投資有価証券評価損	84	96
その他	32	41
特別損失合計	250	534
税金等調整前四半期純利益	11,753	20,660
法人税、住民税及び事業税	2,987	5,444
法人税等調整額	597	667
法人税等合計	3,584	6,112
四半期純利益	8,168	14,547
非支配株主に帰属する四半期純利益	84	240
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,084	14,307

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	8,168	14,547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,195	9,967
繰延ヘッジ損益	△187	△19
為替換算調整勘定	1,664	1,134
退職給付に係る調整額	△73	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	13	118
その他の包括利益合計	5,611	11,186
四半期包括利益	13,779	25,734
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,683	25,472
非支配株主に係る四半期包括利益	96	261

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	87,972	154,914	242,887	31,041	273,929	—	273,929
その他の収益	—	34	34	718	752	—	752
外部顧客への売上高	87,972	154,949	242,921	31,759	274,681	—	274,681
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,036	520	2,557	1,469	4,027	△4,027	—
計	90,009	155,470	245,479	33,229	278,709	△4,027	274,681
セグメント利益	5,889	2,857	8,747	782	9,529	34	9,564

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング、外食、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額34百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	96,342	172,566	268,909	35,310	304,220	—	304,220
その他の収益	—	34	34	719	754	—	754
外部顧客への売上高	96,342	172,601	268,943	36,030	304,974	—	304,974
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,328	931	3,260	3,919	7,179	△7,179	—
計	98,671	173,533	272,204	39,949	312,154	△7,179	304,974
セグメント利益	7,965	8,059	16,024	1,976	18,000	0	18,000

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング、外食、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントにおいて、投資額の回収が見込めなくなった固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては25百万円であります。